夢と未来を拓く心豊かなまちづくり
教育・文化

八重瀬町は、沖縄自由民権運動の父「謝花昇先生」や勤労の喜びを謡った汗水節を作詞した「仲本稔先生」を輩出しており、歴史的にも教育への関心が高いまちであることが伺えます。また、各地には「獅子舞・綱引き・棒術・エイサー・港川ハーレー」など多くの伝統文化が先人から受け継がれています。それらは町民の誇りであるとともに、教育の推進に資する重要な財産としてこれまでも活用されてきました。今後も、本町の独自性をもった教育を推進するため、次代を担う子どもたちの教育に重点を置いて人材の育成を図り、「夢と未来を拓く心豊かなまちづくり」を推進します。

家庭・幼児の充実 学校教育の充実

親子・家族のふれあいを通した、家庭教育を推進しながら創造性・個別性を重視した幼児教育の充実を図っていきます。また、基礎・基本の習得を重視した教育とともに、生きる力を育む教育を推進します。

文化・芸術の振興と歴史・文化資源の継承 交流と連携の推進

町民参画による多様な文化・芸術の企画・実施に努め、質の高い文化・芸術にふれあう機会を創ります。また、家族の絆やコミュニティ活動、世代間交流、地域間交流、姉妹都市交流などの様々な交流を推進します。

平和教育の推進

平和を希求する心、生命の尊重、思いやりの心を育成するとともに、人権を尊重する意識を高めるための教育を推進します。

生涯学習の充実・人材の育成の推進 スポーツ・レクリエーションの振興

町民の生きがいづくりや生涯現役を推進するため、学習機会や学習環境の充実を図ります。また青少年の健全育成を図り、いのちを大切にする人づくりを推進します。また、それぞれの体力や年齢に応じて気軽にスポーツに親しむことのできる、魅力的なスポーツ環境づくりに努めます。

協働の心でつくる町民が主役のまちづくり
町民参画

平成十一年に地方分権一括法が制定され、地域のことは地域で考えていくことが、これまで以上に求められています。本町には三十三の行政区が存在し、それぞれの行政区において良好なコミュニティが形成されていますが、さらにより良いまちづくりを推進していくには、この行政区を基本としつつ、八重瀬町を構成する「町民、議会、役場」がそれぞれの役割をあらためて認識することが重要です。

本町を構成するすべての人が地域への愛着を持って、それぞれの役割を補完し合いながら、「協働の心でつくる町民が主役のまちづくり」を推進します。

コミュニティ活動の強化 協働のまちづくりの推進

まちづくりの主役である町民が誇りを持ち、自ら考え自ら行動する「町民一人ひとりが主役」のまちづくりを推進します。

男女共同参画社会の形成

家庭、学校、地域や企業などのあらゆる分野において、積極的に男女共同参画社会を形成するための施策を推進します。

情報の共有による開かれたまちづくり
情報の共有

情報伝達・共有の仕組みづくり

様々なメディア（媒体）を活用して行政の情報を公開し、町民と情報を共有できる環境や体制づくりを推進していきます。

対話によるまちづくりの推進

行政懇談会や地域ワークショップ、出前講座の実施や広報誌やホームページ・情報ネットワークの強化など、対話の機会を幅広く設けます。